

技能実習  
都道府県プロファイリング

三重県

担当：永井真理

作業日 2021年3月10日～3月17日

# 官民の取り組み：県庁と企業連合会

東海三県1市（岐阜県、愛知県、三重県、名古屋市）共通での取り組み

2004年 多文化共生社会づくり推進共同宣言

2006年 憲章事業を提案

2019年 外国人労働者の適正雇用と日本社会への適応を促進するための憲章を制定

## 「憲章」の協力団体

- 社団法人中部経済連合会（長野・岐阜・静岡・愛知・三重の中部5県を活動エリアとする総合経済団体。オフィスは名古屋市）。  
（同名 x 技能実習の検索では「あいち外国人材適正受入れ・共生推進協議会」ワーキンググループの一員ということだけ判明、ストーリーなし）
- 岐阜県商工会議所連合会愛知県商工会議所連合会三重県商工会議所連合会
- 岐阜県商工会連合会愛知県商工会連合会三重県商工会連合会
- 社団法人岐阜県経営者協会愛知県経営者協会三重県経営者協会
- 岐阜県中小企業団体中央会 愛知県中小企業団体中央会
- 三重県中小企業団体中央会（あとのスライド参照）

## 三重県庁の担当部署

- 三重県 環境生活部 ダイバーシティ社会推進課 多文化共生班
- オフィスの場所は県庁内ではなく、アスト津の4階・5階に開設された、行政サービス窓口、コミュニティ施設、公民館の3つの機能を持つ津市の公共施設

「外国人労働者の適正雇用と日本社会への適応を促進するための憲章」  
(愛知岐阜三重の県庁ウェブサイトにも、以下の同じ文章が出ている)

- 日本に滞在する外国人は、平成元年の入管法改正以来、増加の一途をたどり、特に、ものづくりの拠点である東海地域においては、南米地域からの伴い、日系人やアジア諸国からの技能実習生が著しく増加しており、少子化に伴って若年労働者の減少などへの対応として、今後さらに増加すると予想されています。
- しかしながら、現在日本で暮らす外国人労働者及びその家族は、言語や文化の違い、受入体制の遅れなどから、労働、居住、医療、福祉、教育などの面で様々な課題を抱え、地域社会との間で軋轢・摩擦も生じています。
- このたび、東海地域（岐阜県、愛知県、三重県、名古屋市）の経済を支えている外国人労働者の適正雇用に関し、経済界、企業、労働者、市民、外国人労働者、事業者、労働者が一体で取り組んでいくこととし、地域住民と共生でき、永住化が進む環境を整備し、外国人労働者が日本社会に適切に定住し、働き、生活し、地域と協力を得て、「外国人労働者の適正雇用と日本社会への適応を促進するための憲章」を策定しました。
- なお、このような取組は全国の自治体では、はじめてのことです。

官&民：外国人労働者の適正雇用と日本社会への適応を促進するための憲章普及セミナー  
 パネラー企業一覧 (2015-2019) 毎年、基調講演+東海4県企業の取組紹介(パネラー)

年	タイトル	基調講演者	愛知	岐阜	三重	静岡
2019	外国人を雇用する企業が知っておきたい入管法と外国人の活躍事例	名古屋大学大学院 国際開発研究科 講師 浅川 晃広	アジア共栄事業協同組合	有限会社桜井ダイカスト工業	E L C (いーえるしー) 事業協同組合	社会福祉法人ほなみ会 特別養護老人ホーム第二南風
2018	外国人労働者と雇用企業・地域のこれから	三菱UFJリサーチ&コンサルティング 主任研究員 南田 あゆみ	日高工業株式会社	株式会社キョウワ	大東自動車株式会社 三重県南部自動車学校	株式会社エス・ティー・シー
2017	グローバル時代の企業経営と人材戦略	ヤマハモーターパワープロダクツ株式会社 代表取締役社長 石岡修	株式会社大塚建設	株式会社ファミリーカーシヨップ	ポータル・ミエ株式会社	岸本工業株式会社
2016	グローバル時代の人材活用と企業経営	イオンリテール株式会社 執行役員 人事・総務本部長 二宮大祐	協栄産業株式会社	吉田木材株式会社	住友電装株式会社	株式会社はまぞう
2015	外国人材の活用と企業経営	株式会社セブン-イレブン・ジャパン オペレーションサポート部 総括マネジャー 末永義浩	株式会社大喜プラスチック工業所	浅野燃糸株式会社	社会福祉法人青山里会	鈴与カーゴネットグループ

民：外国人労働者の適正雇用と日本社会への適応を促進するための憲章普及セミナー パ  
 ネラー企業一覧 (201-2020)

年	タイトル	基調講演者	愛知	岐阜	三重	静岡
2014	外国人雇用の展望とこれからの企業経営	IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所] 代表者 (CEO) 川北秀人	株式会社アバンセライフサポート	東和組立株式会社	ポータルミエ株式会社	社会福祉法人博友会
2013	外国人の雇用を考えるセミナー	静岡県立大学経営情報学部 講師 笠原民子	株式会社三恵コンサルティング	株式会社快GO TOKAI	特定非営利活動法人伊賀の伝丸	社会福祉法人天竜厚生会
2012	外国人の雇用を考えるセミナー	特定非営利活動法人多文化共生センター大阪 代表理事 田村太郎	株式会社丸宗	吉田木材株式会社	社会福祉法人青山里会	天竜森林組合
2011	日系定住外国人施策と外国人労働者をめぐる現状と課題	内閣府定住外国人施策推進室 参事官 齊藤馨	株式会社大喜プラスチック工業所	天龍エアロコンポーネント株式会社	三重工熱株式会社	^
2010	外国人労働者とこれからの地域経済	静岡文化芸術大学教授 池上重弘	—	—	—	—

# 官：三重県庁による企業のモチベーションアップ（表彰）

## ≡ 産業関係表彰

- ▶ [産業功労者表彰](#)
- ▶ [「男女がいきいきと働いている企業」認証・表彰制度](#)
- ▶ [三重のおもてなし経営企業選](#)
- ▶ [創意工夫功労者表彰](#)
- ▶ [発明表彰](#)

👍 いいね!

🌐 シェア

🐦 ツイート

📬 LINEで送る

🖨️ 印刷する

## 平成29年度（第33回）受章者

いとう けんいち

伊 藤 賢 一

鈴鹿市

### 【事績概要】

氏は、株式会社一十を創業し、金属プレス加工や溶接加工を手掛けるなかで、3Dプリンター導入による金型製造過程の効率化など、代表取締役会長として、同社の経営革新に努めています。

また、国際技術支援協同組合の理事長として、外国人技能実習生共同受入事業を行い、適正な受入に関する研修会や受入企業の監査・指導を実施するなど地域中小企業の国際貢献を牽引しています。さらに、三重県外国人技能実習生受入団体連絡協議会を設立し、技能実習生の日本語能力向上支援事業を実施するなど、外国人技能実習制度の円滑な運用に尽力しています。

この他、三重県中小企業団体中央会の理事として、県内中小企業及び中小企業連携組織の振興発展に尽力しています。



三重県中小企業団体中央会

2015年3月20日 · 🌐



3月12日の午後1時30分から、三重県外国人技能実習生受入団体連絡協議会の平成26年度第2回研修会及び平成26年度日本語能力試験N1・N2認定優秀者表彰式をプラザ洞津で開催しました。当日の研修会の出席者数は50名でした。

研修会では、公益財団法人国際研修協力機構（JITCO）の常勤理事兼出入国部長の竹田静登氏を講師に迎え、「外国人技能実習制度の見直しにおける適正化方策と拡充方策について」をテーマに講演していただきました。

研修会終了後、本年度、日本語能力試験N1・N2を合格された技能実習生の表彰式を行いました。被表彰者はN1認定者が20名、N2認定者が39名でした。

新たな技能実習制度が閣議決定されたことにより、今後はこれまで以上に監理団体である組合や実習実施機関である組合員に適正な事業運営が求められます。協議会は今後も外国人技能実習生の受入れを行う組合に対し、最新の情報収集と提供を行っていきます。



## 三重県中小企業団体中央会

2020年11月11日 · 🌐



### 【令和2年度外国人技能実習制度適正化事業・適正化講習会】

第1回を10月27日(火)にホテルグリーンパーク津において、第2回を11月4日(水)に四日市市文化会館において、第3回を11月10日(火)に松阪商工会議所において開催し、それぞれオンライン配信も行いました。

第1回は「外国人技能実習制度の適正な実施について」(外国人技能実習機構 名古屋事務所 湯本一史氏)、「コロナ禍における技能実習修了後の在留資格の変更状況等について」(名古屋出入国在留管理局 伊藤 聡氏)をテーマに講習会を開催しました。

第2回と第3回は同じテーマで「外国人技能実習制度に係る働き方改革について」(特定社会保険労務士 辻 義信氏)、「最近の外国人技能実習生を巡る労働問題とその改善について」(三重労働局 中谷 淳之介氏)行いました。

今後も適正な技能実習生の受入れに向けて皆さま真剣に受講されていました。会場参加の皆さま、オンライン参加の皆さま、ありがとうございました。

# 三重県多文化共生社会づくり指針

官：

だいふき  
(第2期)

<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000879491.pdf>

## ★指針作成にご協力くださった皆さん

※敬称略、順不同

**助言：** 松井真理子（四日市大学副学長・総合政策学部教授）

**コラム執筆：** エリカ サマーヴィル（元三重県国際交流員）

**三重県多文化共生推進会議委員：** 松井真理子（四日市大学副学長・総合政策学部教授）、江成幸（国立大学法人三重大学人文学部教授）、アーナンダ クマラ（名城大学外国語学部学部長）、宮西マリア（四日市市交通安全教育指導員）、キム シファン（在日本大韓国民団三重県地方本部副議長）、北村文明（公益財団法人三重県国際交流財団常務理事兼事務局長）、矢土結里恵（伊勢市国際交流協会会長）、坂本久海子（特定非営利活動法人愛伝舎理事長）、和田京子（特定非営利活動法人伊賀の伝丸代表理事）、吉仲繁樹（三重県商工会議所連合会専務理事）、別所浩己（三重県中小企業団体中央会参事）、山本和寿（社会福祉法人三重県社会福祉協議会総務企画部部长）、大辻結花（松阪市子ども支援研究センター前所長）、尾崎充（松阪市子ども支援研究センター所長）、奥野誠人（三重県立みえ夢学園高等学校校長）、横山典子（桑名市市長公室まちづくり推進課女性活躍・多文化共生推進室室長）

**三重県外国人住民会議委員：** セキ ヒサミ ラウロ、バルトロメ サラ ララ、カステド メルガル パオラ、古閑 シルレイ ヨシエ、安井パウラ、喜屋武 カストロ アベル 勇、大島ニコラ、山田ロサリオ、シャルマ ディラジ、史恵麗、兪映香、シェルパ ダワ、シマンジュンタク ウサハ プルガウラン、フェンテス ラムジェイ

**その他協力：** 市町、市教育委員会、地域国際交流協会、外国人学校、事業所、日本語教室、学習支援教室、地域づくり団体、その他団体での活動を通じて外国人住民に関わっている方々

2020年から4年間の指針

第1期指針は2015年から2019年

第2期指針は2020年3月公開。  
作成プロセスは参加型っぽい。

三重県の外国人の歴史的背景、現状、課題、官民学の取り組みなどが包括的に網羅されている。

技能実習生への取り組みは、その一部として記載されている。

外国人住民会議に技能実習生が参加しているか不明。日本語が要件なので、いない可能性あり。

# 官： 三重県多文化共生社会づくり指針

## （<sup>だい2き</sup>第2期）

### ■三重県多文化共生社会づくり指針（2016～2019年度）に基づく取組の結果

展開方向	目標項目	現状値 2015年度	目標値 2019年度	実績値 2019年度
1 課題解決に向けた「多文化共生」がもつ力の活用	三重県多文化共生推進会議、三重県外国人住民会議の年間開催回数	3回	4回	5回
2 情報や学習機会の提供	三重県情報提供ホームページ (MieInfo) の年間アクセス件数	82,882件 (2014年度)	90,000件	114,868件 (2020年2月時点)
2.1 外国人住民への多様な情報提供				
2.2 文化の違いや多様性を学び合う機会の提供	多文化共生に係るセミナー、研修会等参加者の理解度	97.9%	100%	99.0%
2.3 多言語による地域の魅力の発信	三重県情報提供ホームページ (MieInfo) の年間アクセス件数【再掲】	82,882件 (2014年度)	90,000件	114,868件 (2020年2月時点)
3 基盤となる安全で安心な生活への支援	多文化共生に係るセミナー、研修会等参加者の理解度【再掲】	97.9%	100%	99.0%
	医療通訳者が常勤している医療機関の数（累計）	6機関	10機関	13機関
	日本語指導が必要な外国人生徒のうち、就職または高等学校等に進学した生徒の割合	—	100%	97.6% (2018年度)
4 展開に不可欠なさまざまな主体との連携	多文化共生に取り組む団体数	188団体 (2014年度)	220団体	223団体

第一期指針のモニタリング結果が左。

官：

# 三重県多文化共生社会づくり指針

だいふく  
(第2期)

<https://www.pref.mie.lg.jp/commmon/content/000879491.pdf>

指針内を「技能実習生」の単語検索をして出てきた文章

- 近年増加している技能実習生は日本語能力試験等の勉強を希望している場合が多く、既存の教室では対応しきれないという声も多く聞かれます。日本語教育の推進に関する法律もふまえて、市町、実習生の受け入れ機関、企業の役割や連携について整理する必要があります。(12ページ)
- 外国人技能実習生が受検する技能検定試験を円滑に実施するため、試験実施体制の整備を図ります。〔雇用経済部〕17ページ
- 外国人技能実習生等が国内の介護現場において円滑に就労・定着できるよう、介護技能向上のための集合研修の実施を支援します。〔医療保健部〕17ページ

資料編「まちの声」

- 技能実習生は言葉の問題もあって、具合が悪くても医療機関に行きたがらない。(日本人、企業、津市) 技能実習生の日本語自習のため、始業前、終業後に社内の会議室を開放している。(日本人、企業、津市)
- 工場近くの地域で、技能実習生にアパートを貸さないよう呼びかける文書が出回り、物件自体が少ない中で困ったことがある。(日本人、企業)
- 春節の時期にホームシックになりがちな中国人技能実習生のために、賀詞交歓会を開催し、みんなが集まる機会を作っている。(日本人、監理団体、津市)

# 官学 : 三重県私費外国人留学生奨学金

[http://www.mief.or.jp/jp/taikenki\\_file/foreign/31\\_ou\\_en.pdf](http://www.mief.or.jp/jp/taikenki_file/foreign/31_ou_en.pdf)

三重県私費外国人留学生奨学金留学レポート

オウ エンさん

鈴鹿大学 国際人間科学部国際学科

2021年1月

ある意味理想的な、技能実習生からの転身

県/国の留学生奨学金はコロナで2020年度募集はなかった。

## 一部抜粋

- 技能実習生として日本へ来る前に、中国で基地と言う勉強センターで6カ月日本語を勉強しました、日本に来た後、毎日仕事が終わってから独学で日本語能力試験N2に合格しました。
- 2013年3月から2016年3月まで、三重県の**紀北町**で技能実習生として働きました。
- 水産会社で3年間働きましたが、毎日仕事が忙しくて、日本の文化や風俗習慣などに接触する機会が少なかったです
- 帰国して2016年10月に、中国天津の河北工業大学から鈴鹿大学の入学試験を受験して合格して、2017年4月鈴鹿大学に入学しました。
- 三重県は私にとって、第二の故郷のような存在です。三重県での留学は、安心感が強いです。
- 三重県の外国人リポーターとしての活動に参加し、毎年愛知県の国府宮神社で開催する国際茶道大会にも参加します。三重県紀北町商工会の技能実習生の通訳を務めています。
- 国からの給付金は、三重県国際交流財団からのメールと新聞ニュースで情報収集しました。
- 大学で流通マーケティングのゼミに所属して、飽和時代のマーケティングを研究。「日本における外国人労働者」というテーマで、卒業論文を執筆。
- 鈴鹿大学の桜茶道部で副部長を務めておりますが、コロナで今年のイベントを全部中止になってしまいました。幸い就職活動が順調に進めて、就職先も決まりました。

民・NPO：三重県内で国際交流・協力・多文化共生等に取り組んでいる50以上のNPO団体等の一覧  
(公財三重県国際交流財団ウェブ)

Mie International Exchange Foundation  
公益財団法人 三重県国際交流財団

PORTUGUÊS ESPAÑOL ENGLISH FILIPINO 中文

多様な人々と共に創る、多文化を尊重できる社会

三重県内の国際交流・協力・多文化共生等に取り組んでいる団体

### 三重県内の国際交流団体等

三重県内の国際交流団体等リスト | [日本語教室](#) | [外国語教室](#) | [学習支援教室](#) | [市町国際交流協会](#)

あ行

団体名	国際 交流	国際 協力	多文化 共生	外国人 住民支 援	日本語 教室	その他
<a href="#">愛伝舎</a>	●		●	●		
<a href="#">アクアレア・ボン</a>	●		●		●	
<a href="#">ASANTE SANA (あさんて さあな)</a>					●	
<a href="#">安濃地区日本語教室</a>					●	
<a href="#">IATSSフォーラム</a>	●					
<a href="#">AHURA-JAPAN</a>	●	●				
<a href="#">伊賀日本語の会</a>					●	●
<a href="#">伊賀の伝丸 (日本語教室、外国語教室)</a>	●		●	●	●	●
<a href="#">いせ日本語教室 (伊勢市国際交流協会)</a>					●	

技能実習生という用語は使っていない。  
多文化共生・外国人住民支援・日本語教室のいずれかに○をつけている団体は、技能実習生を含めて支援している可能性がある。

ア行～サ行までの団体ウェブを見たところ、「技能実習生」を明記・前面に出しているのは1団体（次スライド）  
それ以外は、「地域の外国人の皆さん」的な表現。

民・NPO：三重県内で国際交流・協力・多文化共生等に取り組んでいる50以上のNPO団体等の一覧（公財三重県国際交流財団ウェブ）から、  
団体ウェブで「技能実習生」を明記している団体リスト（永井がウェブで個別確認して見つけたひとつ）

## <安濃地区日本語教室>

[http://www.mief.or.jp/jp/exchange\\_file/exchange\\_groups\\_a16.htm](http://www.mief.or.jp/jp/exchange_file/exchange_groups_a16.htm)

- 地域の技能実習生・研修生を対象とした日本語学習の応援と国際交流・国際理解を目的とします。
- 津市国際交流協会とAICEC（安濃地区で国際交流活動を行うグループ）の協力で、安濃地区の在住外国人のための日本語教室を開催しています。第1・3土曜日の月2回の実施ですが、JLPT（日本語能力試験）の応援や日本での生活相談などを行っています。